

# J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取中央） 1月号

## 1. 組合長が農高生と面談！

J A 鳥取中央の栗原隆政組合長は12月3日、倉吉市の鳥取県立倉吉農業高等学校を訪問し、卒業後、就農を考える生徒たちと面談した。生徒からの意見や疑問などに答えることで、農業への知識や理解を深めてもらい、生徒の進路選択の一助にすることを目的としている。

生物科3年園芸コース野菜専攻生の泉伊吹さん（17）、小田川太一さん（17）、田中知也さん（18）と竹内温紀さん（18）は管内の特産品などの生産・販売状況について話を聞き、農業への理解を深めていた。栗原組合長は「諦めず、辛抱強く取り組めば、必ず苦労が報われるのが農業」と話し、就農に向けての心構えについてアドバイスをした。

平成30年5月から始まった栗原組合長による個別訪問は、今回で100人となった。



## 2. おいしくて甘い白ネギを市場に PR！

J A 鳥取中央白ねぎ生産部は12月21日、J A 本所で大阪、京都、広島の世界市場とオンラインでつながりトップセールスを行った。日本海側の寒気や先日降った雪の影響で、ネギの甘みが増していることをPRし、目標単価として1ケース平均1200円での販売を宣言した。

今年の秋冬ネギは、7月の大雨や8月の台風により、生育が2、3週間遅れたが、10月1日から出荷を開始し、病虫害の事前防除など、生産者の徹底した栽培管理により品質のいい白ネギに仕上がっている。

こちらからは、ほ場の巡回や指導会の徹底により、高品質出荷を行うこと、雪害が発生した場合でも、全農とつとりと連携し、安定出荷を行うことをアピールした。

市場からは、年末に向け寒くなり、鍋商材として需要が高まっていくため、売り場の維持、確保に努めるとの意見が上がった。

また、白ネギをふんだんに使用した特製鍋「白ネギ笹打ちポークしゃぶ」を用意し、画面越しにおいしさを伝えた。

会議に出席した同部の井上寿樹部長は「1本1本丁寧に育ててきた。クリスマスや年末年始に向け、しっかり販売してほしい」と話した。



### 3. 管内の若手梨生産者で、産地振興に向け意見交換会を実施！

A鳥取中央は12月24日、鳥取県園芸試験場で、第4回目となるプロジェクト“梨Reborn”（梨復活）を開催した。近年、梨が高単価で推移しているにもかかわらず、生産量は減少していることから、過去の振興策の反省も踏まえ効果的な解決方法を精査することが目的。プロジェクトのメンバーは、若手のJA果樹営農指導員と県農林局職員の7名で構成している。



梨全体の2021年度販売高が23億円（内、梨「二十世紀」は約14億円で日本一の産地）と特産品となっているが、生産者の高齢化により、栽培面積が減少している。同プロジェクトは、「二十世紀」を中心に管内の梨の生産基盤を復活させようと今年から始動した。



プロジェクトの生産振興の主な取組として、団地化を行い、世代間共働による栽培と機械化利用、生産部の垣根を越えた青年梨生産者のグループ化など7項目を柱に挙げている。これまで、新たな事業については行政、現場の新技术については園芸試験場と連携し、10年後の産地振興ビジョンや栽培技術について議論を重ねてきた。

第4回目の今回は、管内4つの梨生産部より、青年梨生産者の意見を聞く場として設定。「共働や団地化は生産者にとって良いこと」など好意的な意見の一方で「ハウスなどの資材費が高い。JA、行政、生産者でコストを抑える動きを作らなければならない」など、今後の課題も挙げた。

また、園芸試験場内の園地に移動し、最新のV字ジョイント仕立栽培を視察。今後は、スマート農業が主流となり園地も大規模化すると予想されることから、機械化にあわせた仕立、栽培方法の試験研究を熱心に確認した。

農産部販売課の木下拓也課長は「先人の努力により、中央農協管内は、日本一の「二十世紀」の生産基盤が存在する。これまでの歴史をふまえて、青年梨生産者が10年先を見据えた、活力のわく振興計画を早急に作成し、実行する事で、生産基盤の強化に繋がっていきたい」と話した。

同プロジェクトは、1月中旬にJAと県へ今後の振興計画を答申する予定だ。

#### 4. JAカードの推進イベントを実施！

JA鳥取中央は12月9日、倉吉市のJA直売所「旬鮮プラザ満菜館」でJAカードのPRイベントを開催した。カードを使うことで管内の直売所での買い物金額が5%割引になることをPRし、新規会員獲得を狙う。

満菜館の入口に特設のブースを作り、来店者にアンケートの記入やカードの入会を勧誘。イベント参加者には先着で“よりぞうグッズ”や“鳥取県産の梨”などの特典を準備し、アプローチを行った。この日は、2時間の勧誘で5件の仮申込みとなった。

同JAでは、管内の他のJA直売所や1月8、9日に開催されるファッションフェアでもイベントを行い、たくさんの人にJAカードをPRしていく。



以上